



スダジイ



ドングリだより

Vol.3

■鈴鹿市内で18種類を確認

ドングリとは、コナラ、クヌギ、アラカシなどブナ科の木の実の総称です。一般的には、下部をお椀(殻斗)に包まれた茶色の堅い殻をかぶった実で、楕円形や鉄砲弾の形をしています。日本には20種類余りのドングリのなる木があり、このうち市内では18種類を見ることができます。

■山地や丘陵地に数多く自生

入道ヶ岳や宮指路岳などの鈴鹿山脈では、ふもとから中腹にかけて常緑樹のウラジロガシ、アカガシ、ツクバネガシが自生しています。これらの木のドングリは、春に開花受粉してから次の年の秋に成熟するため2年成ドングリと呼ばれています。

標高600m付近から山頂にかけては落葉樹のミズナラやブナが自生しており、秋には美しい紅葉も見られます。市内の丘陵地の雑木林では、コナラ、クリ、アラカシなどが見られます。これらの木のドングリは、春に開花受粉し、その年の秋に成熟するため1年成ドングリと呼ばれています。

■身近な神社や公園にも

公園や学校には、クヌギ、シラカシ、ウバメガシ、マテバシ



宮指路岳のミズナラ林

イなどが多く植えられています。また、鎮守の森として親しまれている神社林にはシイ林があり、特に石薬師町の大木神社には、スダジイやツブラジイの大木が見られ、市の天然記念物に指定されています。また庄野町川俣神社のスダジイは、樹高14m、幹周り5.5m、樹齢300年といわれる立派な古木で、三重県指定の天然記念物となっています。

秋の雑木林や公園にはたくさんのドングリが落ちており、身近にドングリ拾いを楽しむことができます。さわやかな秋空の下で何種類のドングリを集められるか、足を運ばれてはいかがでしょうか。



広報すずか 2007年11月5日号



F1シリーズが終了しました。今年は富士で日本GPが行われ少しさびしい年でしたが、すでに皆さんご存知のとおり、2009年にF1が鈴鹿に帰ってきます。

市では、この2009年の鈴鹿日本GPを「再開」ではなく、新たな出発にしたいと、市内に「ウエルカムsuzukaF1推進会議」を立ち上げ、2009年までに、どのような取り組みができるのかについて、

鋭意検討を重ねています。また、このムードを盛り上げようと、先日、市役所東壁面、商工会議所、サーキット前交差点歩道橋に懸垂・横断幕も取り付けました。
ぜひ、皆さんも新たな鈴鹿日本GPにご期待いただくとともに、心待ちにしている多くの来場者に対して、全市を挙げて「ウエルカム」の精神で盛り上げていきましょう。(憲)

表紙写真

釣船草(ツリフネソウ)

撮影場所 西庄内町
撮影日 平成19年10月16日
撮影者 石井 隆さん

